

平成22年度決算は、9月9日に決算特別委員会（議長と監査委員を除く12人）を開会し、11会計を審査しました。

9月15日の本会議で、採決の結果、全会一致で認定しました。



守谷丹吾 委員長



大豊作さつまいも掘り
（あらと保育園）

平成22年度各会計決算額表				
会 計 項 目		歳入（町の収入）	歳出（町の支出）	
一 般 会 計		80億2073万円	75億1401万円	
特別会計	十王財産区	96万円	29万円	
	下水道	7億3629万円	7億1898万円	
	国民健康保険	16億1958万円	15億3246万円	
	老人保健	468万円	468万円	
	農業集落排水	1億3139万円	1億2630万円	
	介護保険	13億8818万円	13億6029万円	
	後期高齢者医療	1億4135万円	1億3996万円	
企業会計	水道	収益的収支	3億2418万円	2億7779万円
		資本的収支	1423万円	1億7847万円
	病院	収益的収支	11億3866万円	11億4221万円
		資本的収支	2024万円	1億3128万円
	訪問看護	収益的収支	3134万円	3075万円
		資本的収支	0万円	128万円
合 計		135億7181万円	131億5875万円	

※万円未満は端数を整理しています。

討 論

賛成討論 山田 仁 議員

平成22年度の一般会計は歳入80億2073万円を確保した上で、歳出は75億1401万円で収支差引き5億672万円の黒字となりました。単年度収支でも8183万円の黒字であり、良好な財政運営だと判断します。しかし、自主財源である町税が前年比7.9%減少しており、臨時財政対策債の増加でまかなっていることなどから、依然として財政状況は厳しいといわざるを得ません。

保育所民営化や子育て支援拠点施設の整備・運営の検討開始、産業の連携強化の拠点施設として「白鷹町産業センター」の整備、荒砥高校総合支援事業などの継続案件の方針決定や関連事業、さらには白鷹町独自の取り組みなども多くあります。これらは、町民ニーズを反映した適切な事業と思われる。

地方、国を問わず財源の確保は大きな課題であり、むしろ困難さを増しています。そのようななかでの平成22年度の事業は、総じて果敢な取り組みであったと評価し賛成討論とします。